

第 21 回北陸雪崩講習会 (実技講習実施要綱)

平成 30 年 1 月 27 日(土)・28 日(日)

講習場所：立山山麓スキー場とその周辺(1 日目)

立山少年自然の家とその周辺(2 日目)

《バックカントリーコース》 1 日目

時間	項目・内容
7:00~7:30	受付
7:30~7:45	開講式
7:45~8:00	班分け・装備分け・装備確認
8:00~8:30	講習場所へ移動 (旧金山ゲレンデまで)
8:30~12:00	実技講習開始(午前) (1)雪崩リスクマネジメント(机上講習の実践) ・滑走はエキスパートコースを使用 ・登攀はエキスパートコースから金山ゲレンデ上部へ ・弱層テスト(CT, ETC)を実践
12:00~13:00	昼食休憩(各班の講師判断で時間を設定)
13:00~13:30	雪面観察・記録 ※特別講師：飯田先生の講義
13:30~15:00	滑走のフォーメーションの反復 ビーコン捜索練習 プローブ練習 ・金山ゲレンデ中腹にて
15:00~16:30	下山。少年の家に帰還
17:30~18:00	入浴
18:00~	夕食
19:30~21:00	机上講習(事前課題のディスカッション) (朴木担当)
21:00~22:00	懇親会
22:00~	就寝

2日目

時間	項目・内容
7:00~7:30	清掃
7:30~8:00	朝食
8:00~10:30	講習会場へ移動 実技講習開始 (1) コンパニオンレスキュー(事前課題の実践) 一連の流れを実践する。 (時間計測、埋没ビーコンは2個) (2) 講習まとめと復習
11:00~11:45	机上講習 (特別講師: 飯田先生) ・ 天気と雪質、雪崩との関連性について (天気予報から推測できること)
11:45~12:00	閉講式
12:00~	昼食後 解散

※実技講習にあたって

① 実際に滑走しながら講習を進めてまいります。事前に十分に体調を整えて講習に臨まれるようお願いいたします。

山では、必ず講師・スタッフの指示に従って行動してください。また、事前に装備のチェックをしっかりと行っていただき、お忘れ物などがないようお願いいたします。

● 必須装備

滑走用具 (登攀具: シールまたはスノーシュー・わかん 含む)

ビーコン、プローブ、スコップ

スノーソー

野帳 (やちょう、field note) と筆記具 (鉛筆が好ましい)

○ あれば持ってきて欲しいもの

無線機

ETC ワイヤ

雪観察道具 (拡大鏡、温度計、プレート、など)

② 1日目の夜に事前課題のディスカッションを行います。よりよいディスカッションを行うため、解答できる範囲でいいので、必ず書いて持参してくるようお願いいたします。

③ もし、分からないこと、質問したいことがございましたら、講師・スタッフの方まで、お願い致します。